

かけはし

もりよし荘だより

No. 10

平成27年10月1日

編集・発行

〒018-4301

秋田県北秋田市米内沢字七曲25番地

(社会福祉法人 交楽会)

介護老人保健施設 もりよし荘

TEL. 0186-72-5030 FAX. 0186-72-5017

<http://www.akita-kouraku.jp/>



米内沢保育園児のみなさんによる踊りを
わが孫を見るように目を細め嬉しそうに
見ていました。

祝敬老

心豊かに生きる

互いの長寿を祝う



目録を受け取る利用者

もりよし荘の敬老会が9月11日行われ、関係者多数のご臨席のもと、利用者の長寿を祝いました。最長寿は満百歳の男性。本年度は百歳以上が1人、95才以上が6人、卒寿6人、米寿4人、傘寿2人、喜寿1人となっています。



お祝いのカードを手渡す園児

9月11日、敬老会が開かれ、お祝いに訪れた家族や職員といっしょに長寿を喜び合った。

この日88歳の米寿を迎えた人たちは赤いちゃんちゃんこを着て式に出席。敬老対象者と利用者は車椅子や歩行を助けてもらいながらホールに集合した。

初めに成田陸雄理事長、湊施設長があいさつ。近藤健一郎県議会副議長、北林丈正県議が祝辞を述べたあと、短期、通所利用者を含めて、古希(70歳)、傘寿(80歳)、米寿(88歳)、

卒寿(90歳)の年祝いと今月20日に百歳を迎える方を紹介、湊施設長が米寿を代

絆結和奏

「なしとげる」



利用者とランナーとのふれあい

表し、石田キミさんに記念品を贈った。

対象者を代表し、松橋みよさん(88歳)が「私たちのためにこのような会を開いていただきありがとうございます。これからも健康に気を付けて心豊かに過ごしていきたいです」とお礼を述べた。

式終了後、米内沢保育園児年長年中42名による歌と遊戯などのアトラクションで、楽しみながら互いの長寿をお祝いました。

「四半世紀の想いをいまひとつに」をテーマに掲げた2015北緯40度秋田内陸リゾートカップ第25回100キロチャレンジマラソン大会が9月27日、仙北市角館町・北秋田市鷹巣間をコースに開かれた。

不安定な天気であったが、応援中は晴れ、利用者は駐車場の入口にてマラソンランナー達へ「頑張れ、歩かないで頑張れ」と旗や手を振り熱い檄を飛ばしていた。

声援を受けたランナーは「がんばります、また来るからね」と疲れているにもかかわらず、笑顔で手を振り、また走り始めた。ランナーの完走を祈り、利用者はエールを奏でていた。



選手達を激励する利用者

夏の夜に太鼓の音色

夕涼み会開催

もりよし荘夕涼み会が、くじ引きなどの夜店が設け7月31日開かれ利用者や家族、地域住民が民謡ショーが汗だくになって切り盛りや模擬店などで夏の夜のひとときを楽しんだ。

会場には、焼きそば、か姿が見られた。くじ引きでき氷、金魚すくい、輪投げ、は欲しいものが当たり喜びで



小学校児童による祇園太鼓

利用者で賑わった。玄関前では、職員らが、クマムシの「あつたかいんだからあ」の曲に合わせて踊りを披露した他、米内沢小学校児童による祇園太鼓が演奏された。ホールでは地元森吉の民謡歌手・柏木妙子さんの歌謡ショーが開かれ、演奏や曲が終わるたびに大きな拍手があがり、大盛況であった。

また、例年より地域の子どもたちも大勢訪れ、駆け回るちびっ子たちに目を細めるなど利用者たちの表情も活き活きし、心もリフレッシュした様子。家族や高校生などのボランティアと一緒に楽しみながら、交流を深め合った。



柏木妙子歌謡ショー

折り染め楽しむ

比内養護学校たかのす分校中等部の生徒14名が9月来荘し通所リハビリの利用者と交流した。すっかり恒例となり、お互いに顔馴染みとなった交流会、今回は折り染めに挑戦した。

生徒からやり方を教わり、折り合わせた和紙の角に赤や青、黄を染色していく利用者たち。広げると様々な模様が出来上がり、「きれいに仕上がった」と満足そうな様子だった。



どんな模様になるかな？

百歳お祝い

もりよし荘に入所している若松新一郎さんが9月20日に100歳を迎えられた。24日、市職員らが訪れ、県から総理大臣の祝い状と記念品、市から寿詞と祝い金の贈呈式が行われた。

「男性への総理大臣の祝い状の伝達は3人」「これからは健康に気を付けて長生きしてほしい」と祝福を受け、利用者から花束の贈呈もあり、若松さんは笑顔で「ありがとうございます」と答えていた。北秋田市の100歳以上の人は25人目。



利用者から花束をもらう若松さん



表彰される優勝した白組の利用者

熱闘

もりりんぴっく

今年 は白組 が優勝

6月6日、第8回施設運動会「もりりんぴっく」が正面駐車場で行われた。好天に恵まれ、利用者の家族、北鷹高校ボランティア、近隣の方々をむかえ競技を楽しんだ。開会式で湊施設長

のあいさつに続き、交楽会の成田陸雄理事長が「体に十分気をつけて、けがのないように、楽しい運動会にしてください」と激励した。



新人職員によるパフォーマンス

利用者の選手宣誓、準備体操に続き、利用者全員参加の「となりへどうぞ」が行なわれた。チームに分かれた利用者が横一列に並び、かつら、浴衣、化粧品を順番に隣に手渡し、返って来



きれいになった？男性職員

たものを男性職員が次々と身に付け、出来栄を披露した。
車椅子リレーでは秋田北鷹校の生徒も参加し、一生懸命慣れない車椅子を動かしていた。毎年恒例の新人職員によるパフォーマンスも行われ、利用者から大きな拍手が沸き起こった。



北鷹高校生も参加した車椅子リレー

運動会を花で



花の苗を植える参加者

6月2日、森吉赤十字奉仕団の団員11人がマリゴールドなど10株花苗の移植作業に汗を流した。
散歩をしていた利用者も「花っこきれいだな」と花の彩りを楽しんでいた。
代表の北林カズさんは「天気もよく、スムーズに作業が進んだ。この後の運動会も花を見ながら楽しんでもらいたい。」
毎年施設の運動会に合わせて植栽に由来してもらっている。気温30℃を超える暑さの中丁寧に植え付けていた。

ユニット物語

施設では各ユニットごとに多彩な活動を展開しています。毎月の誕生会、四季折々の節句や行事に、日常とは違った利用者みなさんの生き活きとした笑顔とまなざしが印象的です。今回はそんな情緒豊かな様々な営みの中から、意欲あふれる活動のひとつをお届けします。



香りに誘われて
(六月 ふき組)

天気の良い午後、バラの香りに誘われ外に出かけました。さわやかな風が吹き、色鮮やかなバラに見入っていました。



ユニット対抗スポーツ大会
(六月 うめ組)

6月16日、第3回うめ対ふじスポーツ大会サッカーゲームが行われました。白熱した試合の結果は4-5で惜しくも負けてしまいましたが、皆さん大変楽しまれていました。

海辺で絵画鑑賞
(六月 たんぽぽ組)



能代のはまなす画廊まで行ってきました。きれいに描かれた、「べらぼう凧」の作品の前で記念撮影です。

なまはげに会いに
(五月 ふじ組)

心のリフレッシュにドライブに出かけました。大きななまはげを見て皆さん大喜びでした。



ゲーム大会で、釣り堀を楽しみました。皆さん魚やお菓子を夢中になって釣りに上げていました。



釣り大会
(八月 みず組)

働く現場を体験

— 将来の参考に —

秋田北鷹高校普通科2年生のインターンシップが7月に行われ、市内外の事業所などで生徒たちが進路選択の参考として就業体験学習に励んだ。もりよし荘では近藤梨沙さん、櫻田萌恵さんが3日間の体験に臨んだ。



職員と一緒に技術を学ぶ



ベッドメイキングの体験

介護技術研修にも参加した。初日は利用者の髪をとかしたり、ジュース配りやタオルの整理、ベッドメイキングなどを職員に教わり体験した。二日目は施設内研修の介護技術研修が開催され、現場の技術を職員と共に勉強した。「体力が要り、気配りも必要だと思う」「お年寄りから声をかけられ、温かい気持ちになる」との感想が聞かれた。後日届いたお手紙にはそれぞれ体験で学んだことが書かれていた。

近藤さん「利用者さんと触れ合いを通して思いやりをもつて接することが大切だと学びました。」

櫻田さん「失敗を恐れず、自ら動くことが大切だということと、コミュニケーションをとれる力が必要だということを学びました。」

将来の職業の選択肢を増やすだけでなく、働くという事について大切なものを学んでもらい、二人のこれからを考える要素のひとつにしてもらいたい。

ボランティア

敬称略

柏木妙子御一行 日赤北秋田市森吉赤十字奉仕団
七曲自治会 (株)かんきょう 秋田北鷹高校
比内養護学校鷹巣分校 米内沢小学校 米内沢保育園
秋田県信用組合森吉支店 北都銀行米内沢支店
佐々木美緒 もりの郷

寄付・善意

敬称略

(株)かんきょう (株)タクト 明成園 (有)やまこう
Aコープもりよし 大館桂工業(株) (株)柏木実業
加島シミ 藤井数雄 大倉節子 伊藤公夫 栗原保幸
櫻井エイ 畠山トシ子 石田忠彦 谷地田優子

編集後記

各地で記録を更新した猛暑も終わり、すっかり肌寒くなりました。▼異常気象は異常でなくなり、毎年のように自然災害が起こっています。対策も簡単に超えてくる自然の力に驚きと恐怖を覚えます。▼あつという間に冬になります。▼私は夏より好きな季節です。雪かきは面倒くさいですが、大好きな鍋がおいしい季節なので。さらに肥えてしまふと不安少々、雪かきで運動するから大丈夫と楽観的な考えで、今から何鍋を食べようか悩んでいます。▼さて、今回初めて「かけはし」の編集に携わりましたが、大変かつ楽しく編集することができました。始めは何をしたらいいのか分からず、手も動かない状態でしたが、アドバイスをもらい、期日が迫る焦りもありながら記事を作る楽しさを感じ、完成して安心していきます。(D・N)